日本共産党北区議会議員
さがら とし子
区政レポート

2012.10.18.No.1093.

ご相談はお気軽に
TEL FAX ともに 3905-0970
さがらとし子事務所
赤羽北3-23-17
（バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く）
日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
http://www.kitanet.ne.jp/~kyoukita/

◎日本共産党の提言「即時原発ゼロ」の実現を配布中です。

◎お読みになっての感想、ご意見など、およせ下さい。

今号の1めんは、「即時原発ゼロ」特集です。

よびかける池内さんとそね前都議

左は、宇都宮章区議

説得力ある■違和感なし■意欲的

原発提言

「即時原発ゼロ」を打ち出した日本共産党の提言は、原発ゼロを願う広範な世論にかみあい、反響を広げています。

なかでも、首相官邸前行動など再稼働反対・原発即時廃止を掲げて行動している人たちの間から、「提言は具体的で説得力がある」「即時ゼロは決して不可能ではないと多くの人の賛意を得られると思う」「僕たちとまったく同じ、異論とか違和感はない」など、共感の声が寄せられています。

また、インターネットのツイッターでも話題に。「多くの市民とともに『さ・いっかどぉはんたい』と叫んだからできる提言」「政策を出しっぱなしにせず情勢の進展に沿って見直し発展を怠らないのが真骨頂」「共産党の提言がすごい。今すぐ自然エネルギーに本腰入れないとビジネス的に乗り遅れるぞ、とか実に意欲的、前向き」などの書き込みが次々。「提言」を掲載した党のホームページを紹介するツイートも登場しています。

「官邸前」参加者やネットで評判

日本共産党はこの「提言」をもって全国各地で、党幹部、議員・候補者が幅広い団体・個人との懇談を広げています。また、「提言」を全文掲載した「しんぶん赤旗」号外や「原発ゼロ」署名を活用した取り組みも広がっています。

JA全国大会

「脱原発」方針を確認

TPP反対 総選挙争点に

志位委員長が連帯あいさつ

あいさつする志位和夫委員長＝11日、東京都渋谷区

日本共産党の志位和夫委員長が第26回JA全国大会でおこなったあいさつは次のとおりです。

◇

みなさん、こんにちは（「こんにちは」）。日本共産党の志位和夫でございます。第26回JA全国大会のご盛会おめでとうございます。

この大会の主題「次代へつなぐ協同」には、「力を合わせることの大切さを次の世代につなぎたい」という思いが込められているとうかがいました。

私たち日本共産党は、つぎの三つの点でみなさんと力を合わせてがんばりぬくことをお約束します。

第一は、東日本大震災からの復興です。被災から1年7カ月を経てなお営農再開の見込みが立った農地はわずか39%。いのちと暮らしが、脅かされつづけています。「復興より先にやるべきことはない」、この立場でご一緒に全力をつくします。（拍手）

第二は、TPP参加絶対阻止です（拍手）。JAのみなさんをはじめ、国民のたたかいが、政府の参加表明を阻んでいます。同時に、牛肉の輸入規制緩和などTPP参加を先取りする動きも生まれています。参加断念に追い込むまで、ご一緒にがんばりぬこうではありませんか。（拍手）

2012年10月12日付の「しんぶん赤旗」日刊記事より抜粋

㊤ 1面トップ・JA全国大会

◎全国農業協同組合中央会が、11日の第26回JA全国大会で、「脱原発」方針

㊧ 3面・「即原発ゼロ」日本共産党の提言が評判に

◎金曜日の官邸前、国会前行動には、池内さおりさんと、そねはじめ前都議、日本共産党北区議員団も参加しています。

11・11㊐ 100万人の全国いっせい行動

◎11月11日㊐ 午後1時～赤羽駅西口で宣伝と署名

そのあと、国会包囲の100万人集会に参加を予定しています。

今号は、第3定例区議会報告の2回目です。

消費税増税中止を求め、国会請願署名はつづけます。

区議会 第3回定例会 が閉会

日本共産党　2011年度決算認定に反対

さがらとしこ区議　やまき直人区議

北区議会第3回定例会は5日に閉会。この日の最終本会議では2011年度の決算認定や各議案、意見書等の採択がおこなわれました。

11年度の決算について日本共産党は、一般会計と国民健康保険事業会計の認定に反対しました。

党議員団を代表して反対討論に立った、さがらとしこ議員は、決算の認定に反対する理由について、①消費税増税と原発問題に対して「国の動向を注視する」などとする消極的な姿勢、②破たんした「構造改革」路線にもとづく北区経営改革路線に固執する姿勢、③指定管理者制度導入に対する無反省な姿勢、④都の計画の押しつけに無批判に追随するまちづくりの姿勢、をあげました。

また、国保会計については、保険料算定が住民税方式から旧ただし書き方式に変更されたことによって、介護保険分を含め65%以上の加入者が値上げになったことから反対しました。

民意切り捨てにつながる 議員定数の削減

自民・公明・民主あすか区民クラブが提出した議員定数削減条例案（44→40名）は、自民・公明・民主あすか区民ク・みんなの賛成で可決。

日本共産党の、やまき直人議員は討論で「議員定数の問題は民主主義の基本。行政のチェックや立法機能など議会本来の役割発揮のためには、より多様化した住民意思と要望に対応できるだけの議員数が必要」とのべ、条例案に反対の態度を表明しました。

また提案者が「議会自ら身を切るべき」と論じたのに対し、「『身を切る』というのなら、議員報酬を削減し、費用弁償を廃止するのが筋だ」と反論しました。

区民生活委員会　消費税増税中止を求める陳情

自民・公明・民主が不採択に

14日の区民生活委員会では、東京土建北支部提出の「消費税の増税中止を求める意見書提出に関する」陳情の審査がおこなわれました。

自民党は「消費税は持続可能な社会保障の財源として重要」と不採択を表明。公明党は「『政権交代後、経済政策の9割が実現できていない』といわれる現政権の無策から（消費税増税を）やらなければならなくなった。97年の5%への引き上げでは消費税以外の税収が下がったが、今回はそういうことがないようにしなければ」などとのべながら不採択を主張しました。また、民主あすか区民クラブは「消費税には賛否さまざまあるが態度としては不採択」とし、みんなの党は「増税の前にやるべきことがある」と採択を主張しました。

「増税は暮らし・営業を直撃」日本共産党は採択を主張

日本共産党の、の山けん委員は「消費税増税は家計、営業、日本経済を破たんに追い込むもの。フランスでは緊縮派のサルコジ大統領が失脚、オランド政権に代わって（日本の消費税にあたる）付加価値税引き上げが撤回となり、富裕層や大企業への課税を強化することになった。日本でも『消費税に頼らない道』をめざすべき」と採択を主張しました。

陳情は多数決で不採択となりました。

くらし、介護、住宅、法律などのご相談は

区議 さがらとしこ事務所（3905）0970

そね はじめ事務所（3907）1135

30周年記念 桐ヶ丘健康まつり　実行委員会からのおしらせ

10月28日㊐ 11時～2時 桐ヶ丘郷小学校

恒例の福引きもあります。（300円）当日は1時までに半券を福引き箱に入れて下さい。